



西小校区共生ステーション

2025防災訓練に出展しました



非常持ち出し袋にいれるものを考える家族



やさしい日本語へ書き換えました



炊き出しのカレー。どうやってつくるのかな。



おいしいです！



非常持ち出し袋に見立てた
うちに必要なものを描きました



できました！

11月16日（日）、西小校区共生ステーションで開催された「2025防災訓練」に出展しました。

非常持ち出し袋には何を入れるか、うちを袋（リュック）に見立てて考えてそれぞれの非常持ち出し袋を描くワークショップでは、「避難所ではさびしくなるからぬいぐるみを入れたい」「食べ物大事だと思う」など、避難所生活を思い浮かべながら考えました。夏に行った日本語教室ボランティアスキルアップ研修で学んだ「やさしい日本語」で防災に関係する日本語を表現するワークショップでは、多くの参加者が「日本語って難しい！」と言いながら真剣に取り組んでいました。

日本語教室の学習者やボランティアも参加し、協会ブースだけでなくイベントをとおして防災について考える日になりました。



◇お問い合わせ先◇

長久手市国際交流協会

480-1196 愛知県長久手市岩作城の内60-1（長久手市役所西庁舎1階）

TEL：0561-62-5933

E-mail：nia@nagakute.aichi.jp



題字デザイン：塚原真理子
編集制作：チームなな